

九州大学総長選考・監察会議議事概要（第75回）

- 日時 令和8年2月19日（木） 10:00～13:05
- 場所 伊都キャンパス椎木講堂大会議室（対面）
- 出席者 唐池委員、鹿野委員、柴戸委員、富永委員、板東委員、貫委員（議長）、遠城委員、徳本委員、寺寄委員、山本委員、中島委員、西村委員、大川委員
- 欠席者 津田委員
- オブザーバー 山口監事、堀監事

議事に先立ち、国立大学法人九州大学総長選考等規則第18条第1項により、最終選考については、委員の3分の2以上の出席が必要であると規定されているが、本日は13名の委員が出席しており、定足数を満たしている旨の確認があった。

【議事】

1. 総長候補者のヒアリングについて

九州大学総長選考等規則第18条第2項に基づき、最終選考の総長候補者である赤司浩一候補及び内田誠一候補に対してそれぞれヒアリングを実施した。各候補者から所信表明事項を中心としたプレゼンテーションを行った後、質疑応答を行い、各候補者の将来構想等について聴取した。

2. 最終選考について

同規則第18条第3項に基づき、議長から、まずは合議により最終選考を行うこと、合議により総長候補者を決定できない場合は投票を行う旨発言があった。それぞれの委員から「次期総長に求める資質・能力の基準」を踏まえ、誰が適任かについて意見交換が行われた。合議の結果、赤司浩一候補を次期総長候補者とすることを決定した。

引き続き、当該候補者の選考理由について審議し、選考理由を以下のとおりとすることを確認し、同日付でホームページ及び記者会見において公表することを併せて決定した。

選考理由：

九州大学総長選考・監察会議は、本日、最終候補者となった2名の候補者について総長選考・監察会議が取りまとめた「次期九州大学総長に求められる資質・能力等の基準」を踏まえ、ヒアリングを実施し、九州大学の将来構想、教育・研究、社会貢献・国際貢献、大学経営等について、考え方を聴取し、意見交換を行いました。

その上で、九州大学が置かれている現状や各候補者の将来構想、その実現のための方策、経歴等を参考にしつつ慎重な議論を行った結果、合議により赤司 浩一候補（現職 副学長・特任教授）が本学の総長候補者に相応しい資質・能力を有する人材であると判断し、次期総長候補者に決定しました。